

令和４年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
3 7	加茂農林高等学校

学校教育目標	校訓「至誠勤労・質実剛健」の下、「いのちを育み そして いのちから学ぶ」をスローガンに、夢の実現を目指す生徒一人ひとりの良いところを見つけ、励まし支える教育を推進し、広い視野と高い志をもって地域社会に貢献できる人材を育成する。 【教育方針】 1 人や自然を愛する豊かな情操、次代を生き抜く健やかな心身を育てる。 2 確かな学力とコミュニケーション能力を身に付け、自他の課題に主体的に挑戦する力を育てる。 3 産業人として必要な素養を身に付け、地域社会や産業界に貢献できる人材を育てる。		
スクール・ポリシー	『育 っ た い 生 徒 像』 グラデュエーション・ポリシー（G P）	『生 徒 を ど う 育 て る か』 カリキュラム・ポリシー（C P）	『ど ん な 生 徒 を 待 っ て い る か』 アドミッション・ポリシー（A P）
	・思いやりと協働の精神を培い、自らの役割と責任を果たせる生徒 ・確かな学力とコミュニケーション能力を身に付け、自ら学び、自ら考え行動し、主体的かつ協働的に課題を解決していける生徒 ・産業人として必要な豊かな人間性を育み、地域社会や産業界に貢献できる生徒	・実践的・体験的な学習活動を通して学び、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人としての資質・能力を育成 ・主体的・対話的で深い学びを実践するプロジェクト学習により、科学的な思考力・判断・表現力を養い、課題解決能力と実践力を育成 ・生徒一人ひとりの個性や長所を十分に伸ばす、個に応じた細かな指導の実施	・植物や動物を育てること、食や環境など本校の学習内容に興味・関心がある生徒 ・実験・実習などの実践的・体験的な学習に、意欲的に取り組める生徒 ・将来、食料供給・環境創造などの各分野について大学等で学習を深めたり、農業や関連産業で地域貢献しようとする生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 自然や生命を慈しみ、故郷を愛し、「他者を尊重」することができる明朗快活な加茂農林生を育てます。	①「挨拶ファースト」を学校全体で取り組み、人権の尊重と健全な人間関係構築を図ります。 ②生徒の状況把握に努め、丁寧で粘り強い教育相談活動を行うとともに、いじめのない健全な人間関係構築の指導を徹底します。 ③交通ルールや情報スキルを定着させ交通安全指導・生活安全指導に万全を期し、「命を守る」取り組みを進めます。		①活動の頻度。保護者・生徒対象アンケートの結果、生徒の姿など。 ②いじめ事案や悩める生徒の早期発見と速やかな対応、迷惑調査の結果など。 ③交通事故・違反、ネットトラブルの件数、生徒の登下校の様子など。
2 「確かな学力」とコミュニケーション能力を身に付け、主体的・能動的に行動することができる加茂農林生を育てます。	①全ての授業において学力の３要素の獲得を目指し、授業改善の方策としてＩＣＴを有効に活用した授業の計画に取り組みます。 ②各学科の特色を生かし、地域資源を活用した学習の充実を図り、主体的に学習に取り組む態度と意欲を醸成します。 ③資格取得の目標を明確にし、計画的に推進します。		①学校評価での生徒の満足度や、基礎学力テストの結果 ②「授業アンケート」の結果分析、研究・公開授業の実施状況など。 ③アグリマイスタープラチナ取得数など。

3 地域と連携して「生きる力」と豊かな人間性を育て、将来を担う産業人として魅力を持った加茂農林生を育てます。	①ふるさと教育や学習に関連する地域のイベントに意欲的に参加して、地域課題に着目し、解決に向けた研究活動を推進します。 ②実験実習や課題研究の成果や内容を地域に発信します。 ③主体的な進路決定ができるよう、計画的・組織的なキャリア教育を行い、2学年末には具体的な進路先を宣言できる指導を行います。	❶ふるさと教育推進事業「美濃加茂市あじさいロード整備」など、事業・イベントの具体的成果や参加者対象アンケートの結果など。 ❷「のうりん講座」の参加者数など。 ❸3年生の進路先の分析、年度末における2年生の進路希望状況など。
---	--	--